

三重県農村女性アドバイザーネットワーク通信

【vol.34】令和7年3月発行

三重県農村女性アドバイザー研修会 開催

「忍びの國で広げよう農業女子の^わ〇」



12月3日、伊賀焼伝統産業会館を会場に、今年度も「三重県農村女性アドバイザー研修会」を開催いたしました！今年度は伊賀地区の女性アドバイザーが中心となって企画・運営いたしました。

世話人代表の松岡さんのあいさつにはじまり、かつて伊賀地区で取り組んでいた食育劇「ケロちゃん」をもとに、各アドバイザーの農産物等を順に紹介。とても楽しく心なやかにスタートいたしました。食育劇「ケロちゃん」は、以前、学校へ出前授業に行き活動していましたが、当時に経験した現役アドバイザーは今では1～2名となってしまいました。OBさんから復活の声もあり、今回「ケロちゃん」を復活させて披露することとなりました。伊賀地区アドバイザーからは「また食育活動をしたい」とやる気満々です。女性アドバイザーの「キラリ☆彡」の発揮です。

そして、みなさんお待ちかねの伝統産業・伊賀焼の作陶体験です！各班にわかれて自分だけのオリジナル作品を作ってくださいました。それぞれに素敵な器が出来上がりました。皆さんの仕上がりも見たいな♡なんて思うくらい素敵な作品でした。

お昼ご飯は株式会社アヤマ NOSHAN の伊賀米お弁当をいただきました。株式会社アヤマ NOSHAN の川瀬綾さんから6次産業の取り組みをお話いただき、「平成27年に6次産業の認定を受け、伊賀米や野菜を使った加工食品開発とワークショップができるように施設整備をしようと思っていたところコロナウイルス感染症により、集まることができず厳しい状況となり、計画を変更して道の駅にあるアンテナショップを改装してテイクアウトできるようにしました。今日のお弁当は伊賀米と米粉や自社の麴や醤油などグルテンフリーの材料で調理しています。」と紹介がありました。見た目にも可愛いくて、とても美味しくてお腹いっぱい大満足！伊賀のアドバイザーさんの生産物を使った、エッグタルトや百姓工房さんのポテトチップスをおやつにいただき、みんなニコニコ😊

そのあとは井戸端会議では皆さんそれぞれに雇用関係や暑さ対策など、「作目は違っても悩みは同じだね。」と励まし合い向上心を高め有意義な一日となりました。また、伊賀地区のアドバイザーさんの販売もあり、あっという間になくなってしまいました。

最後に、次の開催地の桑名地区から、「来年は「なばなの里」で開催予定です。また、皆さんに会えるのを楽しみにしています。」と元気いっぱいにご挨拶くださいました。





忍びの國で広げよう農業女子の ^わ 



アドバイザー研修に参加して 世話人：南出和美さん（伊賀）

農村女性アドバイザー交流研修会を終えて、今回は、伊賀地区で開催しましたがいかがでしたか？行き届かないところも多々ありましたがみなさん満足していただきましたか？作陶体験もみんなの楽しい笑い声がたくさん聞こえてました。出来上がりが楽しみです。井戸端会議もグループに分かれて色々な話題で盛り上がっている班もあり、時間も足りないくらいだったのではなかったでしょうか。一年に一度の研修会を楽しみにしていただいていることは嬉しいですが、地区ごとの会員数が減少していくことを少し考えていかななくてはいけない事だと思います。

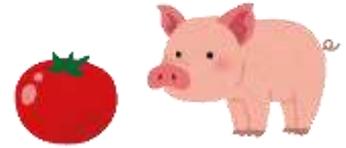
来年は桑名地区のアドバイザーさんにお世話になります。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

～各地区の活動を紹介します！～

きらい発信！

【桑員地区】

【桑員地区の活動をご紹介】 R6年度は会員 12 名で活動しています。



地区研修会 地元食材の豚肉とトマトで調理実習

地区研修会を1月14日に開催しました。10名が参加しOB 松葉さんの「ポークプラザ松葉」で調理実習を行いました。豚肉料理は松葉さんに講師を務めていただき、ソーセージや菊花シュウマイ等を作りました。トマト料理はトマト農家の皆さんを中心に無水ミートソースやカプレーゼを作りました。和気あいあいと話しながら調理と食事を楽しみました！



他組織との意見交換会

地域で行われる他組織との意見交換会にも参加しています。

11月26日に開催された JA みえきた管内の女性アドバイザーと指導農業士、JA みえきた役員の意見交換会では、JA の取組や今後の方向性等について意見交換を行いました。

1月9日に開催された JA みえきた管内の女性アドバイザーと JA みえきた、実需者である株式会社柿安本店との意見交換会では、生産者や消費者の目線から意見をたくさん出し合いました。



【四日市鈴鹿地区】

三泗鈴亀地区農村女性アドバイザーは、総勢 24名で活動しています。

この一年も充実した活動ができました！

～ 第 1 回会議・経営訪問(7月)～

四日市市の山原さんが経営する「さくらベリーズガーデン」に10名が集まり、ブルーベリーの摘み取り体験をしました。

ブルーベリーを使ったドリンクやデザートをいただきながら、今年度の計画について話し合いました。

市町の担当者の方にも同席いただきました。



～ 第 2 回会議・経営訪問(11月)～



四日市市の安田さんが経営する「チャットベリー」に11名が集まり、しめ縄づくりを行いました。安田さんにコツを教わりながら思い思いに作ったしめ縄は、お正月が終わってもスワッグだけ取り外して飾ることのできるデザインで、それぞれ素敵に出来上がりました。

その後、チャットベリーのカフェメニューをいただきながら、下半期の活動予定を話し合いました。



～ 食育活動(1月)～



四日市農芸高校の郷土料理教室の講師を先輩女性農業者である Agri ロマン四日市サルビアの皆さんから引継ぎ、初めて食育活動に取り組みました。

郷土料理である「とり飯」だけでなく、地元の食材を知ってもらうことを目的に「菰野町産のキャベツと亀山市産の豚肉を使った和風ロールキャベツ」「菰野町産のなばなを使った白あえ」「四日市市産のかぶせ茶粉を使った鬼饅頭」の計4品を生徒と作りました。生徒からは、「とり飯が郷土食とは知らなかった。今度家で作ってみたい」といった感想が聞け、有意義な活動となりました。



～交流会(2月)～

令和以降に退任された OG さんにもお声かけし、20名が集まって交流会を行いました。忙しい毎日ですが、この会の時間はゆっくりとおしゃべりを楽しみ交流を深めることができました。

この他、JAみえきたの呼びかけで、三泗地区アドバイザーは桑員地区アドバイザーと共に、JA幹部との意見交換会(11月)や(株)柿安との意見交換会(1月)に参加しました。

【津地区】

今年度の活動を紹介します！

【伊賀地区&津地区の農村女性アドバイザー交流会を開催しました】

7月24日、伊賀地区から4名、津地区から6名のアドバイザーが参加して、両地区の農村女性アドバイザーの交流会を開催しました。

はじめに、津庁舎で津市産農産物を使った調理実習を行い、肉まんとシェントウジャン（台湾風豆乳スープ）を作りました。講師は、津地区アドバイザーの平松さんが務めました。生地で餡を包む作業は難しかったですが、参加者全員がふわふわの肉まんを完成させることができました。昼食は完成した料理とお喋りを楽しみ、互いの交流を深めました。

その後、平松さんの経営するカフェ「Cafe FRAGARIA」へ移動し、6次産業化の取組等について話を聞きました。前職で培ったコミュニケーション力や自分を売り込む力が販路開拓等に役立ったという話では、農業以外の経験も農業に生かせるということに共感が集まりました。また、参加者共通の話題として事業承継や燃料・肥料価格高騰の話、家庭菜園の話等、様々な話題が次々に出てきて、交流会は大いに盛り上がり、おいしく楽しい1日になりました。



肉まんの生地づくり



ふわふわの肉まん



共通の話題で盛り上がりました

【イベントに出展し、津市産農産物のPRを行いました】

11月2日、津市農林水産まつりが開催されました。津地区アドバイザーは青少年クラブと合同で出店し、サトイモやしいたけ等の販売を行いました。まつりの開催前に、津の恵みPRキャラクター「つ乃めぐみ」ちゃんのInstagramで出店者の紹介が行われたため、アドバイザーの活動紹介をしてもらいました。午後からは大雨が予報されていたため終了時間が1時間繰り上げになりましたが、多くのお客様がブースに立ち寄ってくださり、天気が悪くなる前に用意した農産物のほとんどを売り切ることができました。



販売の様子。大雨になる前に、多くのお客様が来てくれました

【松阪地区】

きらり発信！

【松阪地区の活動をご紹介】 R6年度は会員14名で活動しています。



女性農業者組織ミックスベジタブルと交流会をしました！

7月4日に津地域の女性農業者組織ミックスベジタブルの視察研修会で松阪地域農村女性アドバイザー5名とミックスベジタブルの会員10名が交流会を開催しました。今回は松阪牛肥育農家で6次産業化の取組として精肉販売やレストランも経営する有限会社松本畜産に経営訪問をしました。松阪牛の肥育期間のことや子牛の買い付けのことなど普段はあまり聞くことのない肥育農家のお話やカフェの経営が軌道にのるまで家族一丸となって取り組まれた歴史を熱心に伺いました。



牛まつりに出店しました！



11月24日に松阪牛共進会と合わせて開催される「松阪牛まつり」に松阪地区農村女性アドバイザーの皆さんで出店しました。アドバイザーの皆さんが栽培された野菜や加工品販売や子供たちに向けての牛パズル体験を実施しました。子供たちは楽しみながら牛肉の部位を学び、1つ1つのピースを組み合わせながら牛への興味や理解を深めていました。



【伊勢志摩地区】

伊勢志摩地区アドバイザーの活動報告

令和6年度、伊勢志摩地区の農村女性アドバイザーは12名。水稲2名、いちご4名、花き4名、肉牛1名、種鶏1名です。今年度の活動を紹介します。

【新旧アドバイザー交流会】

5月24日の企画会議で、今年度は、コロナ禍でしばらく開催できなかった新旧アドバイザー交流会を、新旧全員と担当者にも声を掛けて開催しようと、準備を進めました。

7月3日、志摩市の「B&Bフォレスト志摩」で交流会を開催し、当日は新旧アドバイザー17名と普及関係者の計22名が参加しました。

アドバイザーといえば、お勉強とおいしい料理と楽しいお話！ということで、男女共同参画や最近のアドバイザー活動、アドバイザーへの期待等のミニ講座の後、参加者の自己紹介、情報交換を行いました。

退任後、ますますお元気に農業経営や地域の中でご活躍されているOGの皆さんのご様子を聞かせていただいて、驚くとともに私たちももっと頑張ろうとパワーをいただきました。とても楽しい時間で、あっという間に終わりの時間を迎えたので、ぜひ、また開催したいと思います。



【大仲ばら園見学+フラワーアレンジ研修・第2回 企画会議】

1月7日、6班会（R4の県研修会で6班になった方の会）の方からの声掛けもあり、企画会議にあわせて、大仲さんにお世話になり、研修を開催しました。

大規模ハウスでの最先端のバラ栽培を見学し、栽培方法や品種ごとの違い、雇用管理、後継者について等々、いろいろ聞かせていただいた後、バラを中心としたフラワーアレンジメントの基本を教わり、ミニブーケも作らせていただきました。

参加者は、伊勢志摩の3名と鈴鹿の藤田さん、津の鵜飼さんの5名でした。イチゴの方が作業が忙しい時期で参加できず残念ではありましたが、経営の工夫を勉強する機会になり、きれいなバラにも囲まれて、充実した時間になりました。



企画会議では、来年度の世話人を決めました。

来年度は、翌年の県研修会に向けて、準備をしていきます。皆さん、R8年度は、伊勢志摩へお越しください！

【伊賀地区】

伊賀地区 今年度の活動を紹介します♪

○津地区・伊賀地区交流研修会を行いました

7月24日(水)津地区農村女性アドバイザーの皆様にお世話になり、津地区・伊賀地区農村女性アドバイザー交流会を行いました。

調理実習では、津市産農産物を使った肉まん台湾風豆乳スープを教えてくださいました。また、cafeFRAGARIAさんでは、新規就農され、6次産業化にも取り組まれている農村女性アドバイザーさんのお話を聞き、「FRAGARIAさんの勢いあるお話を聞かせていただき、少しずつでもがんばるぞとの思いがわいてきました」等元気をいただくことができました。

津地区農村女性アドバイザーの皆様、有意義な交流研修会を企画いただきありがとうございました。



○伊賀地区で三重県農村女性アドバイザー交流会が開催されました。



12月3日(火)三重県農村女性アドバイザー交流会が、伊賀焼伝統産業会館で開催されました。代表世話人のご挨拶の後、「ようこそ伊賀へ」として、伊賀地区の活動や各々の経営紹介をケロちゃんの寸劇で行い、その後、伊賀焼窯元の皆さんの指導で作陶体験を行いました。伊賀で6次産業化に取り組む株式会社アヤマNOSANのお弁当とお話の後、6班に分かれて井戸端会議を行いました。伊賀地区では企画打ち合わせを通して、アドバイザーの活動を振り返り、皆で協力して取り組む機会となりました。

開催にあたりましては、ご参加いただいた皆様、ご指導いただいた農村女性アドバイザーネットワーク世話人の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。



○伊賀地区農村女性アドバイザー新旧懇親会を開催しました。

伊賀地区では、現在11名の農村女性アドバイザーで活動を行っていますが、地域での活動を進める際、OGに学び、OGの皆様の協力もいただきたいとの思いで、伊賀地区農村女性アドバイザー新旧懇親会を開催しました。

懇親会では、現役のアドバイザーから、寸劇で経営紹介を行うとともに、活動への協力をお願いしました。

写真等でこれまでの農村女性アドバイザーの活動をふりかえり、農業体験や食育活動、男女共同参画推進の活動への想いを交流する機会となりました。



【紀州地区】

*紀州地区農村女性アドバイザーの紹介をします。

地域女性活動に対し支援・参画しています

紀州地域農業改良普及センター

紀州地域では農村女性アドバイザーのうち、2名がいきいきネット紀州という女性組織に参画しています。そのうち1人は世話人を務めており、日々積極的に組織の活動に貢献しています。

1月と6月に柑橘栽培管理講習会が開催され、アドバイザーのメンバーも参加しました。管内は柑橘の産地であり、参加した女性農業者は柑橘栽培を営んでいる農業者が多く、座学・実技ともに積極的に参加をしていました。

7月には野菜栽培講習会も開催されました。いきいきネット紀州では柑橘以外の作物に触れる機会も設けており、普及センターも参加して秋播き栽培の野菜について講習を行いました。その後、会員に配布する野菜の種の仕分けをしつつ、次回以降開催される集会へ向けて情報共有を世話人の中で行いました。

11月は農村女性が活躍している熊野川町へ視察を行い英知を養いました。

12月は寄せ植えの講習会が開催され、紀北町の女性アドバイザーが講師として活動に参加しました。研鑽されたノウハウと技術の指導を定期的に行い、女性農業者の活動を支援しています。

農村女性アドバイザーは地域の組織に参画し、ともに活動することや地域の女性農業者の技術習得支援を行い、女性農業者がより一層活躍できるよう活動をしています。

また、今回取りあげた組織以外でも紀州地域の女性アドバイザーは様々な場所で活躍しています。



柑橘講習会の実習の様子

【学びの時間】

☆担い手支援課からの情報コーナー☆

女性農業者の活躍促進・登用推進について

地域の農林水産業において女性は、新たな発想と取組により、その活性化に大きな役割を果たしています。また、基幹的農業従事者の約4割を女性が占め、重要な担い手となっています。

そこで、農業分野への女性の経営参画を推進するため、国・県では男女共同参画基本計画を策定し、農業委員会、農業協同組合等役員への女性の参画の推進や家族経営協定の普及、女性が働きやすい環境の整備などの支援に取り組んでいます。

家族経営協定について

☆家族経営協定とは？

家族農業経営に携わる各世帯員が、意欲とやりがいをもって経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就労環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。本県では、令和6年3月末時点で398戸が締結しています。

【目的】

- ① 農業経営目標と家族の目標を同時に実現
- ② ワーク・ライフ・バランスの確立
(農業・家事の役割分担、社会参画、趣味など)
- ③ パートナーシップ経営による経営発展
(経営方針、経営会議、休日・労働時間・収益の分配などの就業条件、資質向上など)
- ④ 経営内容・経営目的・家族の目標を「見える化」
(経営資源データの見える化、資金計画、農業経営発展計画、生活設計)
- ⑤ 次世代育成、経営継承のツール

【制度上のメリット】

- ① 認定農業者の共同申請が可能になる
- ② 農業者年金の国庫助成を受けられる
- ③ 農林水産祭参加の表彰行事における夫婦連名表彰を受けられる



☆家族で目標・ルールについて話し合いをしましょう！

家族経営では、家族が共に生活を営むなかで、経営に携わることから、お互いが愛情をもって、気持ちよく働くためのルールや環境をつくるのが大切です。

しっかりお互いが向き合いながら、同じ目標に向かって一人ひとりが活躍できる経営について考えましょう。

☆締結後、見直しはできていますか？

協定が実行されているか確認してみましょう。自分たちの考えていた農業経営と現状を比較し、修正点があれば、見直しましょう。定期的に、家族内で話し合い、見直すことで、経営上の課題に気付くかもしれません。



詳細はガイドブック:<https://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/kyoutei.html> をご覧ください。

農業委員について

☆農業委員とは？

市町に設置されている農業委員会の一員として、効率的な農地利用について公正な審査を行うほか、地域農業の発展に向けて農地利用の最適化に向けた取組を推進します。

【農業委員会の業務】

- ① 優良農地の確保と利用
(農地法に基づく許可、農地パトロール、遊休農地所有者に対する意向確認等)
- ② 農地利用の最適化の推進
(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)
- ③ 農業施策に関する意見の提出
(行政等への提言)



【委員の任期及び任命】

任期：3年

農業者等の推薦・募集の結果を尊重して、議会の同意を得て市町長により任命されます。

【農業委員の数】

29市町 421名の農業委員のうち、24市町で48名の女性農業委員が活躍されています。
(令和6年4月1日現在)

☆女性が農業委員になると…？

- ・農業委員会に新たな視点が加わり、男性だけでは持ちえなかった経験や情報網などのリソースがもたらされます。
- ・結果、地域内の多様な意見に基づく検討につながり、組織の活性化や委員会業務の進展等の効果が期待されます。

☆地域農業を元気にしていくためには、女性の力が必要です。
ぜひ農業委員になって活躍してください！

このコーナーでは、農村女性アドバイザーが各地域でご活躍いただくため、押さえておくべき情報（新任者研修時にも紹介しました）を紹介しています。

農林水産部担い手支援課から女性農業者の活躍促進・登用推進に向けて①家族経営協定、②農業委員の2つの内容について情報提供いただきました。

この情報を話題にして、地区でも色々話し合ってみてくださいね♪

令和6年度知事認定農業士等と農林水産部長との意見交換会が開催されました

令和7年1月10日、アスト津において知事認定の青年農業士・指導農業士・農村女性アドバイザーの代表者と農林水産部長との意見交換会が行われました。

この日は世話人の方々にご出席いただき、地域の現状や雇用の問題、高温対策など話し合いました。また、皆さんの意見を踏まえ、独りよがりにならないよう気を付けていきたい。現場ニーズを知れてよかった。などの意見が部長および幹部からありました。今後もこのような機会をつくっていったらと思います。スムーズな進行にご協力いただきありがとうございました。

農林水産部長との意見交換会に参加して 世話人：岡野珠美さん（志摩市）

1月10日に県の関係者の方々と意見交換会の時間をいただいてありがとうございました。

私たちが日々農業に携わりながら様々な問題を考えながら仕事に向き合っている現実があります。この場をいい機会ととらえて、その思いを提起させてもらい、わかる範囲で応えていただけたので、参加された皆さんも納得できた部分もあったように感じました。

今回の意見交換に感謝しつつ、次回も開催できることを期待したいと思います。ありがとうございました。



和やかに集合写真!(^^)!



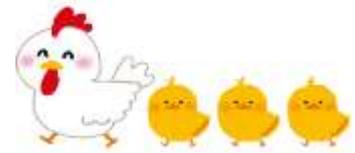
農業士さんの生産物



意見交換会の様子



♪第37回農山漁村のつどいが開催されました♪



「繋ごう、農山漁村の新たなカタチ！」

3月8日に「男女共同参画フォーラム～みえ男女2025～」の分科会として『繋ごう、農村漁村の新たなカタチ！』をテーマに開催されました。近年、農山漁村では異業種から農林水産業に参入し、新たな取組に挑戦する動きがあります。

今回の農山漁村のつどいでは、養鶏農家から経営を受け継ぎ、新たに6次産業化に取り組んでいる「FUJUHUB（フジハブ）」から講師をお招きし、農業に参入しようと思ったきっかけ、参入することでわかった農山漁村との繋がりなどについてお話いただきました。

講演『異業種からの新たな取組～事業の継承とこれから～』



実行委員 松岡さんあいさつ



株式会社フジ技研
常務取締役 鏡谷有紀さん



情報交換の様子

第37回農山漁村のつどいに参加して 世話人：松岡千恵さん（菟野町）

今年度のテーマは「繋ごう、農山漁村の新たなカタチ」。異業種から新たな取組に参入した（株）フジ技研の鏡谷有紀さんの講演では「養鶏農家から経営の受け継ぐ難しさ、課題は山積みでも昔ながらの自家配合で心を込めて育てている” いっちゃんたまご” をなくしたくない思いと地元愛がすごい」と感じました。あと、行動力がある人にはいろいろな人との出会いがあり、まだまだ伸びていく企業さんなんだと、私も今後の経営に生かしていけたらと思いました。今日は良いお話が聴けて良かったです。ありがとうございました。

* 農村女性アドバイザーホームページ *

ネットワーク通信最新号を右の二次元コードからWebで見ることができます！

<三重県農村女性アドバイザーネットワーク事務局>

〒515-2316 松阪市嬉野川北町 530

三重県中央農業改良普及センター普及企画室担い手課(泉、長嶋)

次回の研修会は

令和7年11月6日(木)

なばなの里

で計画中！

お楽しみに♪